

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立病院経営管理事務											
測定年度	2020(R2)年度				部	市立病院事務局				課	経営企画課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市病院事業の設置等に関する条例						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	本院を利用する疾病や疾患を抱えた方					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	病院経営の健全化が図られなければ、質の高い医療が継続的に受けられなくなる。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携を図りながら、経営の効率化を図り、病院経営の健全性を確保することにより、患者に対して良質な医療を継続的に提供できている状態。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市立ひらかた病院の経営状況の分析等</li> <li>○当初予算書・決算書の編集・発行</li> <li>○病院年報の編集・発行</li> </ul>						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					病院経営の健全性を確保する。				経営の効率化を図る。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				経常収支比率の改善 【算出式:経常収益/経常費用×100】				医業収支比率の改善 【算出式:医業収益/医業費用×100】					
	単位				単位				%					
	指標種類													
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						99.50	101.40	101.40	101.10	90	91	90.80	90.90
実績						106								
達成度				106%				83%						
分析				新型コロナウイルス感染症の影響により、医業収支は悪化したものの、医業外収入において新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床確保のための空床補償など国や府からの補助金が交付されたことにより経常収支では改善した。				新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、入院・外来患者数が大きく減少し、医業収益も大きく減少した一方、医業費用において、対応する職員の人件費や診療材料費・経費等が増加した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	50,886	48,102	47,850	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	50,886	48,102	47,850	
	物件費計	776	433	0	0	—
	歳出計	51,662	48,535	47,850		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	51,662	48,535	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を見通すことは困難であるが、北河内唯一の感染症指定医療機関かつ市立病院として、新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、地域に根差した安心と満足の得られる質の高い安全な医療の提供に努めている。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	重点医療機関として引き続き新型コロナウイルス感染症に対応する一方、北河内二次医療圏における唯一の市立病院として政策的医療を提供するとともに、地域医療支援病院の承認を契機とした地域連携の強化や救急搬送患者の受入促進を図るなど通常医療における収益改善にも取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立病院経営企画課運営事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	市立病院事務局			課	経営企画課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外										
	施策目標	99.施策体系外										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット		~			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務を行う職員・職場										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	予算決算管理事務等専門的な知識を要する業務に精通する職員を育成すること。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務をすべての職員が適正かつ効率的に執行するための専門的知識を習得できている状態。											
事業概要	課の運営業務											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.89
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,902	16,034	15,950	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,049	1,504	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	16,951	17,538	15,950	
	物件費計	4,525	6,178	0	0	—
	歳出計	21,476	23,716	15,950		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	21,476	23,716	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、人的資源を含めた現有資源を最大限に活用するとともに、補助等を活用し、新型コロナウイルス感染症感染防止と、感染患者の受入れ体制の整備に努めた。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適正かつ効率的な事務執行に努める。